

忠臣蔵新幕 宅家街と使の段
大鹿歌舞伎保存会(長野県大鹿村)



伽羅先代萩 政岡忠義の場
湖西歌舞伎保存会(静岡県湖西市)



菅原伝授手習鑑 吉田社頭車引の場
田峰観世音奉納歌舞伎谷高座(愛知県設楽町)



菅原伝授手習鑑 寺多屋の段
下條歌舞伎保存会(長野県下條村)



信州山中島合戦 輝虎配膳の場
豊橋素人歌舞伎保存会(愛知県豊橋市)



恋飛脚大和往來 新口村の場
雄踏歌舞伎保存会「万人講」(静岡県浜松市)

入場
無料

豊橋
大会

第26回
三遠南信ふるさと歌舞伎交流

令和元年 11月17日(日) 開場 ● 9:30 開演 ● 10:00
穂の国とよはし芸術劇場 主ホール
愛知県豊橋市西小田原町123番地

主催 ● 三遠南信ふるさと歌舞伎交流実行委員会
共催 ● 豊橋市、湖西市、湖西市教育委員会、浜松市、大鹿村、大鹿村教育委員会、下條村、下條村教育委員会、設楽町、設楽町教育委員会
後援 ● 愛知県、愛知県教育委員会、公益財団法人豊橋文化振興財団
助成 ● 独立行政法人日本芸術文化振興会



お問合せ先 ● 三遠南信ふるさと歌舞伎交流実行委員会事務局(豊橋市「文化のまち」づくり課内) ☎(0532)51-2873 〒440-8501 豊橋市今橋町1

三遠南信ふるさと

あらしじ

忠臣蔵 幕府 宅衛 上使の段

大鹿歌舞伎保存会(長野県大鹿村)

舞台は、山科にある大星由良之助の館。鹿間宅兵衛と称して平右衛門がもぐりこんだ館に、妹のおかるが大星由良助の使いとして封箱を持って訪ねてきます。妹と対面した平右衛門は、封箱を奪いとり中身をあらためますが敵討ちのことは何も記されていません。由良之助に失望している平右衛門におかるは手紙をのぞき見た件を話します。大事な手紙を見失ってしまったおかるは殺されても仕方ないところでしたが、身請けして親元へ帰そうという由良之助の温情であったことを悟るのです。平右衛門は、おかるに夫の勘平や親の与市兵衛の死を告げると、

妹の命を犠牲にしようとして刀を振り上げます。おかるの首を、顔世の首と偽って、吉良の屋敷へ潜入する腹なのです。この様子を奥で見ていたお石は、平右衛門の忠義に心を打たれ、近習格にとりたてて、討入の仲間に加わることを許すのでした。平右衛門は、おかるの首をいさながら鎌倉へと旅立っていきます。

伽羅先代萩 政岡忠義の場

河西歌舞伎保存会(静岡県湖西市)

頼兼遊蕩のため隠居の後は、鶴喜代が五十四郡の当主となつて足利家の奥に、乳人政岡、その子千松とともに暮らしている。この幼主を亡き者にしようとする悪人の味執権仁木弾正の妹八汐は、政岡を罪に落とし、自分が鶴喜代の乳人になろうとするが失敗する。幼君暗殺の手はそこから伸びてくるかわからぬ。政岡は、鶴喜代の食事を全て自炊している。そへ

豊橋大会

足利本家の管領職山名宗全の奥方栄御前が、將軍が下賜されたと称して毒入りの菓子を持つてくる。政岡は、毒入りを危惧するが、管領家の手前、制止しきれず苦慮しているところへ、駆け込んで来た千松がその菓子を手づかみで食べ、毒に当たつて苦しむ。毒害の陰謀が発覚することを恐れた八汐は千松ののどに懐剣を突き立ててなぶり殺す。

わが子の死に顔色つ変えず、鶴喜代を守る政岡を見た栄御前は、政岡が千松と鶴喜代を取り替えたと思ひ違い、陰謀を明かし、一味の連判状を政岡に渡す。栄御前を見送つた後、母親に返つた政岡は、常々教えていた毒見の役を果たした千松を褒めつつ、武士の子ゆえの不憫を嘆いてその遺骸を抱きしめる。その様子を見て政岡の忠義を知つた八汐は、連判状を取り返そうとして、かえつて政岡に殺される。しかし、妖術を使ってネズミに化けた仁木弾正が連判状を盗み出して逃げてゆく。

菅原伝授手習鑑 寺子屋の段

下條歌舞伎保存会(長野県下條村)

菅丞相の一族詮議厳しく、京の郊外芹生の里に寺子屋を開く武部源藏に、かくまつている丞相の二子菅秀才の首を打つて出すように厳命が下つた。もはや逃れるすべはない。源藏は、万策つきて、今日寺入り(入学)した小太郎という子を殺し、首実検に来た松王丸と春藤玄蕃の前に差し出す。菅秀才の顔を知つているはずの松王丸が、意外にも菅秀才の顔に違いないというので、玄蕃は首を持って帰つた。小太郎こそ松王丸の二子で、源藏夫婦、菅秀才の危機を知つた父が先に回つて身代わりになったのである。事情を知つた源藏夫婦は、松王丸夫婦と涙にけれながら小太郎の葬送を行う。今回の上演は、首実検の場面からの上演となりま

菅原伝授手習鑑 吉田社額車引の場

田峰観世音奉納歌舞伎谷高座(愛知県豊楽町)

この作品は、菅原道真に関する伝記や民間信仰をもとに作られたと云われ、一七四六年に竹本座で文楽の作品として初演されたものです。

菅丞相に仕える四郎九郎家に生まれた三つ子は、天下泰平の吉相を持ち、舎人(とねり)にすれば帝の守りとなると云われ、松王丸は時平、梅王丸は菅丞相の、桜丸は斎世親王の舎人に取り上げられました。しかし右大臣の菅原道真は、左大臣の藤原時平による計略により大宰府へ流されてしまいました。菅原道真の御台の行方を尋ねる梅王丸に行き会つた桜丸は、恋の取り持ちが丞相流罪の因となつた身の不運を嘆いているところに、吉田社参詣の時平の車がやってきました。二人は時平に文句を言つてやろうと、時平が乗つた牛車を止め叩き壊そうとします。杉王丸、松王丸が出てきて兄弟喧嘩となりますが、吉田社頭を血で汚してはならぬと時平に止められます。三兄弟は父白太夫の七十歳の賀の祝いの後に決着をつけようと別れます。

恋飛脚大和往來 新口村の場

雄踏歌舞伎保存会(万人講)(静岡県浜松市)

大阪新町の郭で三百両の為替金の封印を切つて、梅川を請け出した亀屋忠兵衛は、実父孫右衛門の住む大和国新口村へと向かつた。

むろん、為替の封印を切つた忠兵衛には追つ手がかかつた。その目を忍んで新口村へたどり着いた二人は、雪の中を歩いている孫右衛門を見つける。孫右衛門が雪の上で転び、思わず梅川が走り出て、梅川と孫右衛門の二人の芝居になる。

孫右衛門は、うすうすこの女が悴の情婦と察するが、梅川は孫右衛門に迷惑が掛かつてはと名乗ることも出来ない。よそながら忠兵衛に聞かせる孫右衛門の嘆き、梅川の口説き、雪の中の爛々たるシーンである。

孫右衛門は、忠兵衛の養母亀屋妙閑への義理を思つて、忠兵衛と会うことは拒否する。梅川は、ついに孫右衛門に「めんない千鳥」という遊びの時と同じように、目隠しをして忠兵衛に会わせる。父の手が息子の体

をなで、息子の手が父の手を握る。二人は雪の竹藪の裏道に逃げて行く。二人を逃がした孫右衛門はただただ嘆き祈るのであつた。

信州山中島合戦 輝虎配膳の場

豊橋素人歌舞伎保存会(愛知県豊橋市)

武田信玄の軍師として名高い山本勘助。その武田と敵対する長尾輝虎(のち上杉謙信と名のる)も勘助を軍師として迎えたいと考えていた。そこで輝虎は、勘助の妹(唐衣)の夫である直江山城守の助けを得て、勘助の母(越路)と妻(お勝)を自分の館に迎える。お勝は吃りではあるが達筆で教養もあり、姑によく仕えていた。

輝虎は越路に將軍拜領の小袖を贈つたり、自ら膳をささげもち欲待する。しかし、その最上級のもてなしに対し、越路は「婆を餌に勘助を釣る計略か」と小袖を拒絶し、膳をひっくり返す。越路は、息子勘助が武田の軍師として心おきなく仕事ができるように、輝虎からのもてなしを一切受けてはならないと考えたのだつた。

輝虎はその無礼に怒り、刀の柄に手をかけて越路に詰寄る。とつさに吃りのお勝が傍の琴で止め、琴を弾きながら必死に老母の命乞いをする。その真情にうたれ、輝虎は刀を納める。

アクセス



豊橋駅(JR東海道新幹線、東海道本線、名古屋鉄道)、新豊橋駅(豊橋鉄道運美線)直結。豊橋駅南口から徒歩3分。
※駐車場はございません。公共交通機関やお近くの公共駐車場等をご利用ください。豊橋駅前大通公共駐車場(第1・第2)・パーク500をご利用の場合、駐車料金が30分150円から30分100円に割引(上限4時間)になります。